

自治体名	訪問A		訪問B		訪問C		訪問D		通所A		通所B	
	実施の有無	特筆事項	実施の有無	特筆事項	実施の有無	特筆事項	実施の有無	特筆事項	実施の有無	特筆事項	実施の有無	特筆事項
横浜市	○	従来の訪問介護相当のサービス利用が多く、サービスAの需要は少ない	○	配食支援の団体数は増える傾向にある	○	対象者把握に課題がある	—		—		○	要支援者等の確保に苦慮している団体がある
川崎市	○	担い手確保	—		—		—		○	担い手確保	—	
横須賀市	○	事業者がない	○	団体メンバーの高齢化	○	利用者数が少ない	—		○	事業者がない	—	
平塚市	○	基準緩和型のサービス利用が増え、従来のサービスよりも利用率が高いが担い手が少ない	○	利用者数、他利用回数が増加傾向であるが担い手とサービス内容回数が合致していない	○	対象者が限定的な事業であり地域包括支援センターケアマネジメントをする中で、現在のところ適当な対象者がいない	—		○	実績なし	—	
鎌倉市	○	今まで利用実績なし	○	交付実績ない	—		—		—		○	実施団体をどう増やすか
藤沢市	○	生活援助の一部提供等がわかりにくく普及進まず	—		○	利用者数は、概ね目標値に達しているが、事業利用後のモニタリングまでは十分に行えていない	—		—		—	
厚木市	○		○		—		—		—		○	
大和市	○	事業対象者の掘り起こしが必要	—		○	事業対象者の掘り起こし	—		—		○	一部の地域の実施に留まる
伊勢原市	○	事業者が増えない	—		○	他のサービス利用がない方のため対象者が少ない	—		—	事業者が増えない	—	
座間市	○	利用者の半分は事業対象者、半分は要支援者。従前相当との線引きが明確でなく利用者の判断となっている	—		—		—		—		—	

